

肺炎の診断目的で施行した胸部レントゲン写真で 偶然に縦隔異常陰影を認めた1例

A Case of Accidental Mediastinal Abnormal Shadow by Chest Radiograph

後藤 拓也* 竹原 康介 田中 宏治 北野 勝也 中島 伯

Takuya GOTO, MD*, Kousuke TAKEHARA, MD, Kouji TANAKA, MD, PhD, Katsuya KITANO, MD, Osamu NAKAJIMA, MD, PhD

枚方市民病院循環器科

症 例 38歳, 女性.

主 訴: 発熱, 湿性咳嗽, 呼吸困難.

家族歴: 母親が胸部大動脈瘤で手術, 姉が腹部大動脈解離で手術.

既往歴: 特記事項なし.

現病歴: 2008年10月初旬から発熱, 湿性咳嗽, 呼吸困難を認めたため当院外来を受診.

肺炎を疑い胸部レントゲン写真を施行, その後, 胸部単純CT検査を施行. 当院初診時の胸部レントゲン写真(図1)と胸部単純CT画像(図2)を示す. 考え得る疾患は?

J Cardiol Jpn Ed 2009; 3: 286 - 288

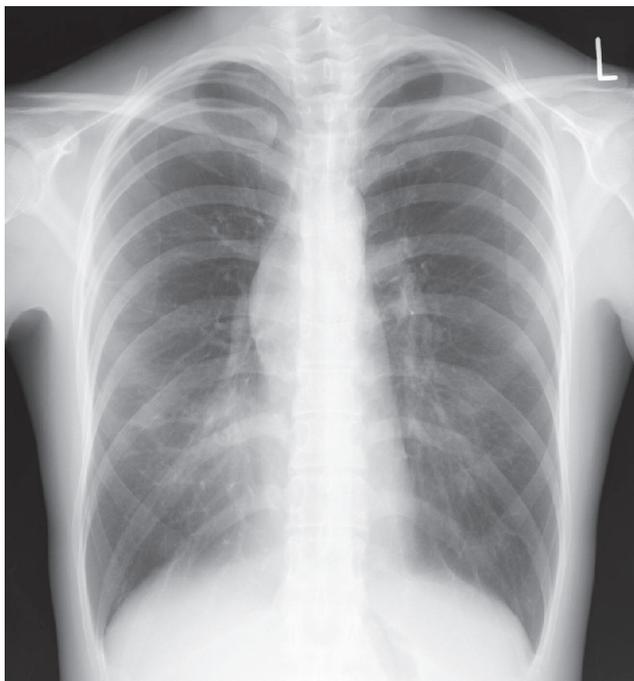


図1

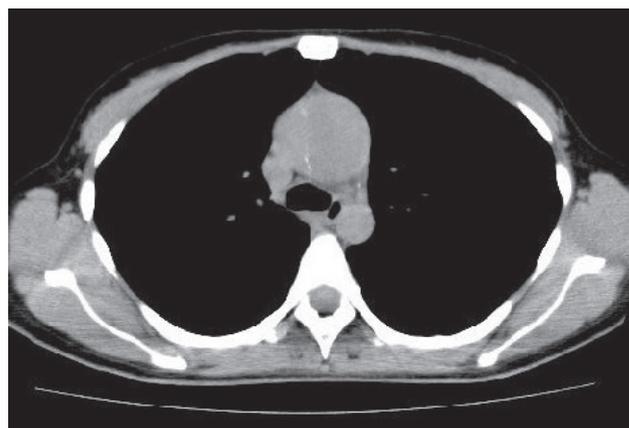


図2

* 枚方市民病院循環器科

573-1197 枚方市禁野本町 2-14-1

E-mail: t-gotch@nifty.com

2008年12月26日受付, 2009年2月28日改訂, 2009年3月3日受理

診断のポイント

初診時胸部レントゲン所見 (図1) は滴状心、右第2弓シラエットサイン陽性の右下肺野浸潤影、右第1弓の突出を認める。同日施行した胸部単純CT所見 (図2) から右中葉肺

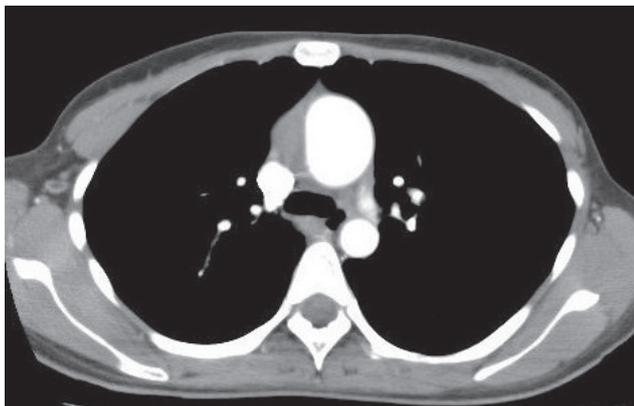
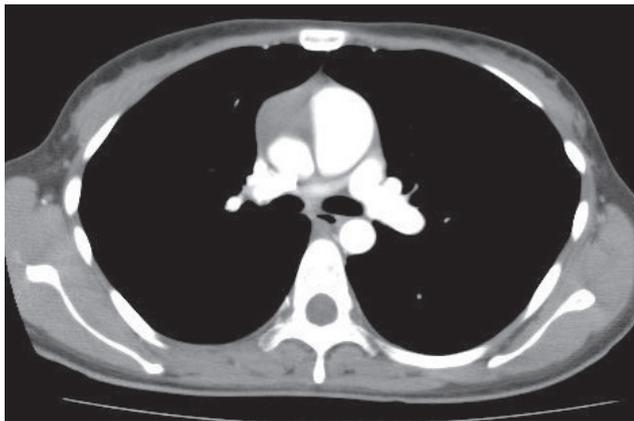
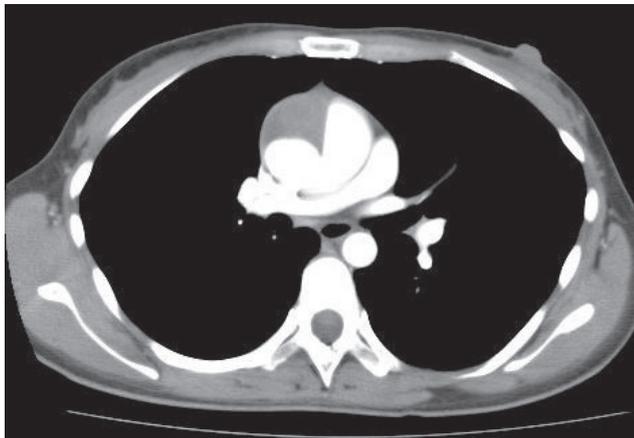


図3

炎と診断した。胸部単純CT所見 (図2) は上行大動脈が53 mmと拡大、上行大動脈内部に一部石灰化像を認める。胸部単純CT所見から上行大動脈解離または上行大動脈瘤を疑い、胸部造影CT検査を施行した。胸部造影CT所見 (図3, 4) では、上行大動脈に解離を認め、偽腔は上行大動脈に局限、血栓閉鎖しているが、偽腔は巨大な潰瘍状に造影されており、上行大動脈は53 mmと拡大している。その後の詳細な問診でも過去に胸痛や背部痛の既往はなく、D-dimerは0.1 $\mu\text{g/ml}$ 、FDPは2.8 $\mu\text{g/ml}$ と線溶系マーカーの上昇は認めず、大動脈解離の発症時期は不明であった。

本症例は濃厚な家族歴を有する無痛で発症した若年性上行大動脈解離であったが、水晶体亜脱臼を認めず、手首徴候と親指徴候は陰性、体格や顔貌もMarfan症候群に特徴的ではなく、診断基準も満たさないためMarfan症候群の可

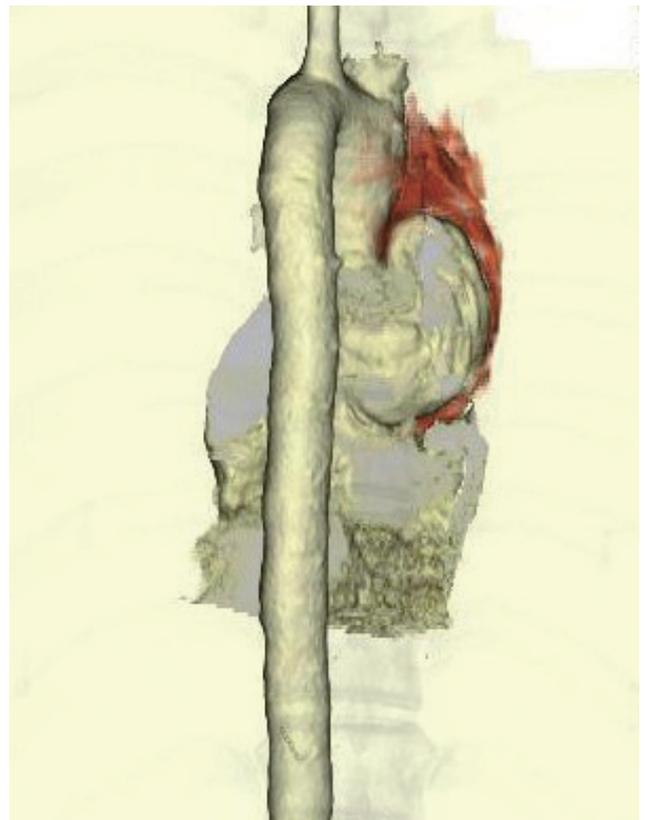


図4

能性は低いと考えられた。

急性大動脈解離において何らかの痛みを有する感度と胸部単純レントゲン写真異常を認める感度はそれぞれ90%と報告¹⁾されている。また、本症例のような40歳未満の大動脈解離で、痛みを伴わずに胸部レントゲン写真異常を認めるのは68例中14例との報告²⁾もある。本症例はこれまで健診で異常を指摘されたことはなく、また、胸痛や背部痛などの自覚症状を伴わず、胸部単純レントゲン写真から偶然に縦隔陰影の異常を指摘、最終的にStanford A型大動脈解離と診断された。偽腔開存は認めなかったが、一部潰瘍状の造影所見を認め、上行大動脈は53 mmと拡大していたため、外科治療を検討するため、肺炎軽快後に外科転科、手

術となった。

Diagnosis: 右中葉肺炎, Stanford A型大動脈解離

Keyword: Stanford A型大動脈解離

文 献

- 1) Klompas M. Does this patient have an acute thoracic aortic dissection? JAMA 2002; 287: 2262-2272.
- 2) Januzzi JL, Isselbacher EM, Fattori R, Cooper JV, Smith DE, Fang J, Eagle KA, Mehta RH, Nienaber CA, Pape LA; International Registry of Aortic Dissection (IRAD). Characterizing the young patient with aortic dissection: result from the International Registry of Aortic Dissection (IRAD). J Am Coll Cardiol 2004; 43: 665-669.

図1 初診時胸部レントゲン画像.

滴状心, 右第2弓シルエットサイン陽性の右下肺野浸潤影, 右第1弓の突出を認める.

図2 胸部単純 CT 画像.

上行大動脈が 53 mm と拡大, 上行大動脈内部に一部石灰化像を認める.

図3 胸部造影 CT 画像.

上行大動脈解離を認め, 偽腔は上行大動脈に限局, 血栓閉鎖しているが, 偽腔の一部は潰瘍状に造影されている.

図4 胸部3D 画像.

上行大動脈解離を認める. 血栓閉鎖されている偽腔は巨大な潰瘍状に造影されている.